



台峯ナショナル・トラスト 北鎌倉の景観を後世に伝える基金

会報

北鎌倉だより

2000年6月

NO・3



台峯の緑地保全の願いを込めて熱唱する青木由有子さん

(2000・6・4 北鎌倉女子学園)

目次

- 1999年度活動報告・会計報告
- 特別企画「講演&チャリティ・コンサート」
- 2000年度活動計画・予算
- WELCOME!
- 伝言板

台峯ナショナル・トラスト 北鎌倉の景観を後世に伝える基金委員会

総収入額 1000万円を突破

会員数も600人に

梅雨本番ということで、うっとうしい毎日が続いております。でも雨にぬれた北鎌倉一帯の樹林を眺めているうちに、この雨水が来るべく夏の日や冬の乾燥した日々の備えになって、私たちに豊かな緑をプレゼントしてくれていることに思い至りました。自然の営みには、無理がないようです。

さて、私たちの運動も今年4月から新しい活動年度に入りました。98、99年度はまさに手探り状態で、活動を続けてまいりましたが、皆様のご支援により今年6月に入り、皆様から寄せられた浄財の総合計額は、10,495,840円と1000万円を突破、会員数も600人に拡大しました。順調に伸びてはいますが、台峯緑地（27ヘクタール、推定買い取り価格は180億円）保全のためには、さらなる運動の拡大・発展が必要です。私たちも自己努力しますが、皆様方のご協力もお願い致します。

▽タイムリミットは今年から来年

【台峯の宅地開発計画の現状】

昨年12月発行の「北鎌倉だより」NO・2（新しく会員になった方で、購読希望がおありになる場合は事務局にご連絡下さい）で、詳しくお知らせしましたように、昨年鎌倉市は台峯緑地を保全するため、緑の基本計画に基づき中央公園の拡大整備構想を作成しました。これに対し、地権者も宅地開発計画のたたき台として区画整理事業基本構想（案）を鎌倉市に提出しました。鎌倉市と地権者は双方のたたき台をベースに昨年11月から今年4月にかけて、5回の保全協議を行いました。

両者の保全協議は今後も続きます。これまでの協議で地権者は緑地保全を一切否定しているわけではありませんが、地権者は鎌倉市のたたき台が、地権者が計画している区画整理事業の対象地区全域を公園化しようとしているため、あくまでも区画整理事業の成立が前提であるとし、拒否の姿勢（鎌倉市の公園用地としての買収要請に応じない）を崩しておりません。

「台峯緑地を公園化するには予算措置が必要。公園化するには、都市計画事業決定の手続きが不可欠で、タイムリミットは今年から来年」と鎌倉市は説明しています。「里山的実質保全」を目標にしている私たちは、両者の協議を見守りたいと思います。台峯の緑地保全問題は大きな山場に差し掛かっていると認識に基づいて、今後の運動を展開していきたいと気持ちを引き締めております。

▽1周年の集いを開催

【1999年度活動報告】

- ①定例委員会の開催（毎月第1日曜日）②「なだ いなだと北鎌倉周辺をあるく」（毎月第3日曜日）③街頭募金（99年4月、5月）④鎌倉市市民活動フェスティバル参加（99年5月）⑤行政との話し合い（99年8月）⑥社団法人日本ナショナル・トラスト協会全国大会に参加（99年10月）⑦「北鎌倉・台峯ナショナル・トラスト一周年の集い」（99年11月）⑧鎌倉のトラスト団体の情報交換会であるトラスト連絡会参加（ほぼ月1回ペース）⑨円海山周辺の生態系を守る共同アピールに賛同（2000年2月）⑩機関誌「北鎌倉の風」創刊号・改訂版発行（2000年3月）⑪社団法人日本ナショナル・トラスト協会に加盟（2000年3月）

▽入場者は目標を上回る560人

【講演&チャリティ・コンサート】

6月4日に開催した特別企画「なだ いなだ語り、青木由有子が歌う、台峯の生命（いのち）の叫び」は、当日560名の方々にご来場いただきました。素人集団の初めての企画ということもあって、来場者の皆様には、十分な対応ができませんでした。目標にしていた入場者数500人をクリアし、90万2716円の純益（全額台峯の緑地保全活動のために使われます）を出すことができました。

今回の特別企画の大きな意義は、台峯を里山的に実質保全しようという私たちの呼びかけに対し、関係各方面から暖かいご支援をいただいたことです。後援に鎌倉市、（社）日本ナショナル・トラスト協会、（財）かながわトラストみどり財団、（財）鎌倉風致保存会、リラ研究グループ自然音楽研究所、協賛に民間企業の安田生命保険、朝日生命保険の2社が名を連ねていただきました。北鎌倉女子学園には会場の無料提供にとどまらず、会場の設営、チケットの販売などご配慮していただきました。北鎌倉を中心とした数多くのお店には、ポスターを掲示していただいたり、チラシを置かせていただきました。また、数多くの媒体には、この催しについて好意的に取り上げていただきました。この場所を借りて改めて深い感謝の意を表明致します。

チケット販売実績

	枚数(枚)	金額(円)
会員・寄付者	249	373,500
学生	27	27,000
大人	448	896,000
合計	724	1,296,500

費用

	金額(円)
音響費	210,000
事務消耗品	75,430
通信費	49,840
スリッパリース	24,570
その他	33,944
合計	393,784

純益

	金額(円)
	902,716

*全額台峯保全活動に使用されます。



挨拶する宮澤文恵・北鎌倉女子学園学校長

来場者アンケートから

講演とコンサートの組み合わせを評価

今後も必要が9割超す

若い世代の参加が最大の課題

6月4日にお越しいただいた方々にアンケートをお願いしましたが、その結果をお知らせ致します。入場者560人中192人(全体の35%)の方々から回答をいただきました。今回の催し全体についての感想については「大変良かった」(65%)「良かった」(26%)を合計すると91%の入場者に今回の企画を評価していただきました。その理由は「なだ先生のお話が分かりやすくユーモアが

あって良かった」「なだ代表と青木由有子さんの組み合わせが良い好企画」「みどりの大切さと保全について理解できた」「会とリラ自然音楽のハーモニーが良かった」などでした。

このような催しは今後も必要かとの間には90%の方々が、必要と回答されました。「人々の共感が高まる」「みどりの大切さを理解してもらう良い機会になる」「繰り返し人に訴える必要がある」「自分のこととして考えるきっかけになるから」などを理由として挙げられました。不必要は5人と全体の3%にとどまりました。



適度のストレスはむしろ必要と講演するなだ代表

Q今会の催し全体の感想は？

	人数(人)	割合(%)
①大変良かった	124	65
②良かった	49	26
③普通	6	3
④不満	1	—
⑤その他	0	—
⑥未記入	12	6
全体	192	100

Q今回のような催しは必要？

	人数(人)	割合(%)
①必要	173	90
②不必要	5	3
③分からない	8	4
④未記入	6	3
全体	192	100

「台峯の生命の叫び」を歌にして！

委員会の要望等についてお聞きしましたが、「参加者の多さに敬服。静かに力強くがんばって」「きらぎらしないて人の心に訴える会。活躍を祈る」などありがたい励ましの言葉をいただきました。課題として「飲み物がなく不自由に感じた」「山歩きや、台峯の命を写し

たビデオを見せて解説したら」「もっと講演の時間を長く」「活動は多様な方が良い。口語体で間口を広くやって」などのご指摘がありました。「台峯の生命の叫びという歌があるのかと思った。是非作って」というユニークな意見が寄せられました。自然音楽研究所にお伝えしたいと思います。

今回この催しを成功させるため、可能な限りの広報活動を展開しましたが、「今回の催しを何によって知ったか」の回答は「友人・知人の紹介」(28%)「委員会からの連絡」(21%)「機関誌・会報(リラ自然音楽)」(21%)がベスト3で、以下「ポスター」(11%)「チラシ」(10%)と続き、複合的な広報活動の必要性を改めて痛感しました。入場者のうち会員・寄付者の割合は27%、一般大人が59%でした。

入場者の7割が女性

性別、年代については女性が72%、男性が28%と圧倒的に女性の割合が多い結果がでました。年代は女性が40代と50代を合わせると53%とこの世代に集中しているのに比べ、男性は30代、40代、50代、60代、70代に分散していました。残念なのは学生料金を設定したのに20代以下の入場者は女性8%、男性2%にとどまったことです。若い世代にどうしたら私たちの運動に参加してもらえかが、今後の最大の課題といえるようです。

青木さんの歌声に賞賛の声

青木さんのコンサートについては「つまらない」は皆無、「とても良かった」(128人)「まあ良かった」(16人)「涙が出た」(26人)「すがすがしく感じた」(55人)との複数回答をいただきました。ほとんどの方が、由有子さんの美しい声、朗読・コーラスを素晴らしいと賞賛、感動したとの感想を寄せられました。「心を洗われた」「外からのそよ風と小鳥の鳴き声と一体となった空間が自然を愛する人と波長がゆったりしていて気持ち心地よかった」との意見もありました。ご来場いただいた方々が、お帰りになる時の表情が穏やかで和んだようにお見受けできたのが印象的でした。



入場者は2階席をも埋めた



ピアノを奏でながら歌う青木由有子さん

1999年度特定非営利活動に係る事業会計

貸借対照表

2000年3月31日現在

北鎌倉の景観を後世に伝える基金

科 目	金 額		科 目	金 額	
I 資産の部	円	円	II 負債の部	円	円
1 流動資産			1 流動負債		
現金預金	914.555		前受金	4.000	
流動資産計		914.555	流動負債計		4.000
2 固定資産			2 固定負債		
緑地保全積立金	6.246.516		固定負債計		0
固定資産計		6.246.516	負債合計		4.000
			III 正味財産の部		
			前期繰越		
			正味財産	3.382.484	
			当期正味財産増加額	3.774.587	
			正味財産計		7.157.071
資産合計		7.161.071	負債及び正味財産合計		7.161.071

2000年5月7日

公認会計士 吉野 功



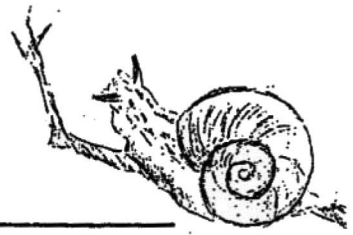
公認会計士 林 雄一郎



私どもは、特定非営利活動団体北鎌倉の景観を後世に伝える基金の1999年4月1日から2000年3月31日までの事業年度に係る計算書類、すなわち貸借対照表、財産目録および収支計算書について監査を行った。

監査の結果、貸借対照表および財産目録は2000年3月31日現在の財産の状況を正確に示しており、また、収支計算書は同日をもって終了する事業年度の事業の成果を適正に表示しているものと認められた。

私どもと特定非営利活動団体北鎌倉の景観を後世に伝える基金との間には、利害関係はない。



「北鎌倉周辺・山歩き」

「駅からすぐに」・娘からの誘いを受けて、「山歩き」に参加させていただきました。、自動車道路から、僅かにはずれた、家並みの間の小道を歩いて行くと、いきなり、メジロさんの声が、聞こえ嬉しくなりました。スタートから、何かワクワクする気持ちになりました。谷間（谷あい）の道に出ますと、右手の方は崖にへばりつくように、マンションが建っています（ずいぶん危険なところに建っています）。今回のコースは、民家あり、マンションあり、畑あり、谷あり、池あり、山あり、短い時間の変化に富んだものでした。電車の駅から歩いて、すぐのところ、沢山の自然の仲間達と出会えるところがあるのは、素晴らしいです。郊外の公園（都市型ではない）としてとてもいい地形と思いました。このような観察会は、四季を通じて何回かすると、もっと、自然の楽しさ、偉大さ、優しさ、厳しさ、を理解してもらえるのではないかと思います。宅地にするのはもったいないです。富山県の場合は、郊外でこれだけの自然が豊富なところはないように思います。車を30分程走らせなくてはなりません。羨ましいです。ありがとうございました。（長谷川澄代 富山在住 {50代}フェリス）

「訴えかけられてる」・6月4日のコンサートで18日の企画を知り、富山にいる母も誘って参加しました。何年も登っていない山に入っただけでも私にとって大きな喜びでしたが、歩いていくと、初めて見たり聞いたりするもの、滅多に見られないものに次から次へと出会えて、もう驚きと感動の連続でした。キリがないのでここでは具体例をあげませんが、本当に生態系が豊かだと感じざるを得ない。この素晴らしい台峯を宅地開発しようとしているなんて信じられません。実際に山の中で自然の生命を肌で感じ取ったら、宅地開発に賛同する気にはなれないと私は思うのですが……今回いろいろなものに出会いましたが、珍しいものがあつたり、わざわざ私達の目の前に何度もきてくれたり、普通なら逃げるのに逃げなかったり、不思議な日でした。なんだか私達が見せられている、自然が強く訴えてかけてきている、雨の予報がちゃんと晴れたり、見えない力にまもられているような気がしてなりませんでした。（長谷川美和） 畑 畑 畑

会員欄を常設します。今回はなだ代表とともに台峯の自然に接した感想を取り上げました。広く基金の活動・在り方についてもご意見をお寄せ下さい。

2000年度活動計画

▽地元密着、全国展開をさらに推進

【台峯の宅地開発計画の現状】でお伝えしましたように、台峯緑地の保全を巡る動きは、重大な局面を迎えております。これまで地元密着、全国展開を心がけて運動を展開してまいりましたが、台峯緑地保全のためには、この方針をさらに推し進め、より多くの方々に運動に参加していただきたいと考えております。

こうした基本的な考え方の下に以下のような活動計画を決定致しました。

- (1) NPO 法人化（特定非営利活動促進法＝NPO 法に基づいた法人格の取得）の検討
- (2) 行政との定期的な話し合い
- (3) 地権者との話し合いを深める
- (4) なた いなたと北鎌倉周辺をあるく（毎月第3日曜日実施）
- (5) 秋に基金発足2周年の集いを開催
- (6) 来春に第2回「講演&チャリティ・コンサート」を開催
- (7) 勉強会の開催
- (8) 街頭募金の実施
- (9) 今秋を目標に機関誌「北鎌倉の風」NO2を発行



民家を包み込む台峯緑地(写真中央、左下の建物が北鎌倉女子学園)

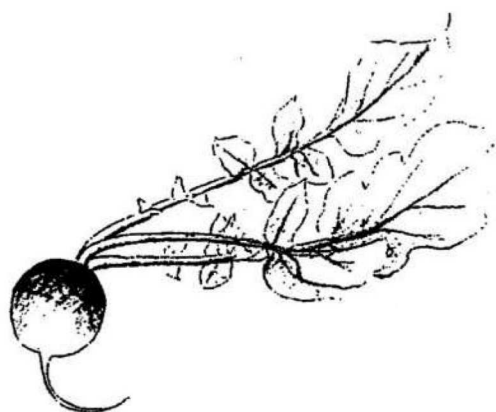
2000年度特定非営利活動に係わる事業会計

収支予算書

2000年4月1日から2001年3月31日まで

北鎌倉の景観を後世に伝える基金

科	目	金	額
			円
I	経常収入の部		
	1 会費・入会金収入	830,000	
	2 事業収入	900,000	
	3 補助金等収入	300,000	
	4 寄付金収入	2,600,000	
	5 雑収入	10,000	
	経常収入合計	4,640,000	
II	経常支出の部		
	1 事業費	1,610,000	
	2 管理費	0	
	経常支出合計	1,610,000	
	経常収支差額	3,030,000	
III	その他資金収入の部		0
IV	その他資金支出の部		
	1 緑地保全積立金繰入支出	2,780,000	
	2 予備費	100,000	
	その他資金支出合計	2,880,000	
	当期収支差額	150,000	
	前期繰越収支差額	910,555	
	時期繰越収支差額	1,060,555	



WELCOME!

新委員と新監事、新しいみどりのサポーターの自己紹介です。

【新委員】

封筒の宛名書きなどを

和泉 あきさん（相模女子大学名誉教授）

私は6年前に東京から越して参りましたので、鎌倉では新参者です。全体として一つの意味を持っている町に住みたいと思いました。昨年の春、職を辞めた後、この会を知り、お仲間に加えていただきました。

私は会津の山々を望める越後平野の東端で育ちました。台峯の谷戸を歩き、幼馴染の虫や草や小動物に会えるのは嬉しいことです。日本中どこも無残に荒れ果てている里山、少しでもそれを押し戻すことが出来ればと思いながら、事務のお手伝いをしております。

【新監事】

会計の専門家として運動をサポート

吉野 功さん（公認会計士）

我々の所属している日本公認会計士協会のホームページには、いまアピール宣言として自己改革、制度改革および社会貢献の三つのテーマが掲げられています。

監査法人勤務を辞めてから時間的に余裕できたので、3番目のテーマについて何かしたいと思っておりました。

「基金の」活動に対しては、専門家として会計的な面でサポートすることが役割だと思っていますが、公認会計士がこのような市民団体のボランティア活動に結構役に立つと認識していただければ幸いです。

浄財が適正かつ有効使用されるよう手伝いたい

林 雄一郎さん（公認会計士）

幼少のころ、山に入ればクワガタムシやカブトムシ取り、寺の境内ではセミ取り、そして、田んぼではカエル、オタマジャクシやザリガニ取りに夢中になり、夜には、カナブンやガが飛び回る朧な街灯を見上げたものでした。

私は現在30代半ば、そんなに昔ではないこの辺りのありふれた情景でした。あれほどたくさんいたものがこんなに簡単に消えてしまうなんて、里山が実に微妙なバランスの上に成り立っていることを、この運動に参加し教えていただきました。

私は、公認会計士という立場で、この台峯緑地を守ろうとする方々の浄財が適正かつ有効に使用されることのお手伝いのできればと思っています。



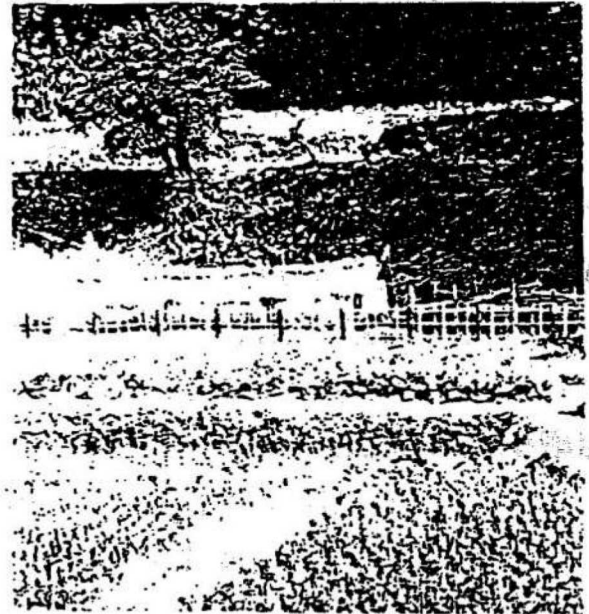
【新しいみどりのサポーター】

中央公園の市民団体への運営委託を願う 山崎の谷戸を愛する会代表の相川 明子さん

鎌倉中央公園が「谷戸を生かした市民参加の公園」となることを願って、1990年に発足した。工事計画の変更を行政に要望した結果、修正案が2回出たが、いまだに実現されない、生態系に配慮した工事に対して粘り強く交渉中。市民団体の管理運営参加の中で、運営協議会委員、田畑の農業体験の補助指導員、子供の体験学習の指導員、炭焼き・谷戸講座の企画を主に行っているが、(財)鎌倉市公園協会の下での市民ボランティアの活動のしにくさを解消するために、当会ほか、市民団体への運営委託を願っている。会員約500人。

刈り取った稲が干され里山の風情が漂う

*山崎の谷戸を愛する会は中央公園で、田んぼ、畑の耕作や雑木林の下草刈りをしています。参加希望者はTEL/FAX 0467-47-9908(相川方)まで連絡してください。



(1998年秋の鎌倉中央公園)

求むみどりのサポーター！

台峯を実質保全するために、横並びのゆるやかなパートナーシップを結びませんか。このほど「山崎の谷戸を愛する会」にご参加いただいたことで「みどりのサポーター」は、6団体になりました。既に参加いただいている団体は①北鎌倉を愛する音楽家の会②鎌倉学塾③鎌倉・広町の森を愛する会④鎌倉モーツァルト協会⑤高野グリーングループです。

○新会員募集中○

基金の新規会員を募集しています。年会費は大人の個人会員2000円、法人会員3000円です。家族会員、学生会員制度もあります。詳細は事務局にお問い合わせ下さい。

郵便振替 口座番号00250-2-20454

口座名 北鎌倉の景観を後世に伝える基金委員会

*お名前にフリガナをお忘れなく。

伝言板 (委員会からのお知らせ)

【人事】

□新任

事務局担当委員 和泉あき (相模女子大学名誉教授) = 2000年4月5日

監 事 吉野功 (公認会計士) ▽林雄一郎 (公認会計士) = 2000年2月6日

□退任 (2000年1月9日)

事務局 長 酒井政子

監 事 小島寅雄 ▽岡本正博

*退任されましたお三方には、基金の基礎固めに多大なる貢献をしていただきました。心より御礼申し上げます。

【定例行事】

■「なだ いなだと北鎌倉周辺をあるく」 毎月第3日曜日午前9時に北鎌倉・東慶寺手前の山ノ内公会堂に集合し、主に台峯から鎌倉中央公園までを鎌倉自主探鳥会の方々のガイドによって歩きます。解散は正午ごろ、中央公園にて。雨天の場合は山ノ内公会堂でフリートーク。2000年の予定は、**7月16日▽8月20日▽9月17日▽10月15日▽11月19日▽12月17日**です。詳細は事務局にお問い合わせください。

【規約改正】 (2000年2月6日)

「6・基金の運営経費は、会員の年会費と助成金でまかないます。」を「6・基金の運営経費は、会員の年会費と助成金、その他収入でまかないます。」と改正しました。

【組織構成の現状】

2000年2月6日の定例委員会で、組織の簡素化を図るため、組織改正を行いました。ポイントは会長、副会長、事務局長の廃止と代表、代表補佐、事務局担当委員、広報担当委員の新設です。組織構成の現状は以下の通りです。

【代表】 なだ いなだ

【代表補佐】 石黒ひで

【委員長】 森泉定男

【事務局担当委員】 小林京子 ▽和泉あき

【組織担当委員】 望月眞樹

【企画担当委員】 望月晶夫 ▽小田原茂夫

【会計担当委員】 小林京子 (事務局担当兼任) ▽新槇幸子

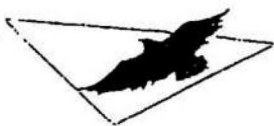
【渉外担当委員】 斎藤博子

【広報担当委員】 榎原一郎 ▽野口稔

【監事】 吉野功 ▽林雄一郎

【顧問】 増田正美

緑と古判が織り成す安らぎの街並み保全に力を貸してください



発行日…2000年6月24日

発行所…台峯ナショナル・トラスト北鎌倉の景観を後世に伝える基金委員会
事務局 〒247-0062 鎌倉市山ノ内1045 (小林方)

TEL/FAX 0467 (22) 7993

シンボルマーク オオタカ 後藤圭子/表紙題字 橋本ひろ